

観光地としての群馬のイメージ・認知度調査

群馬経済研究所 研究員 稲田純也

調査のポイント

近県在住者へのアンケート調査により、観光地としての群馬のイメージや観光資源の認知度・興味度、観光に関する情報源、今後の観光目的での来訪意向等をまとめた。

要約

- 多くの人が、観光地としての群馬を「自然が豊富なところ」「温泉が豊富なところ」とイメージしていた。
- 群馬の観光スポットのなかで「草津温泉」「伊香保温泉」が、ご当地グルメ・食材のなかで「水沢うどん」が認知度・興味度ともに高かった。
- 群馬の観光に関する主な情報源は、「テレビ」「Webサイト」であったが、年代別では、若い世代ほど「YouTube」「X(旧 Twitter)」「Instagram」から情報を得ている点が目立った。
- 回答者の約6割が、「今後、観光目的で群馬を訪れたい」と思っていた。その理由として、「温泉でリラックスしたいから」「宿でゆっくり過ごしたいから」「自然の中で癒されたいから」を挙げる人が多くみられた。この結果から、『温泉や自然による安らぎ』を求めて群馬を訪れたいと思っている人が多いと考えられる。

【アンケート調査概要】

調査方法：インターネットアンケート調査

調査期間：2023年10月上旬

対象地域：茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県

調査対象者：対象地域に居住する20歳以上の男女（群馬県出身者を除く）

有効回答数：1651 【回答者概要】

	回答者数	年代				
		20代	30代	40代	50代	60歳以上
全体	1651	330	331	330	330	330
構成比	100.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
性別	男性	826	165	166	165	165
	構成比	50.0%	10.0%	10.1%	10.0%	10.0%
	女性	825	165	165	165	165
	構成比	50.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%

※四捨五入の関係により、内訳と合計が一致しない場合がある（以降の図表も同様）。